

3. 活動内容

(1) 「栗山」と粒江小学校

本校の学校林である栗山は、学校の南、種松山の一角にある。47度の斜面に約120本の栗の木が植えられ、毎秋、児童らが栗拾いを楽しむなど、学校のシンボルとして親しまれている。土地は1908（明治41）年9月20日に地元の人から粒江村尋常高等小学校（現 粒江小学校）に寄付されたと記録にある。

最初は、自然林で、理科の自然観察などに使われていたようである。戦時中、食べ物が不足した時代にはサツマイモ畑になり、子どもたちを飢えから救ったといわれている。栗山になったのは1955年で、地元青年団が120本の苗を植え、以来、6年生が卒業記念に植樹したり、教職員や保護者が年2回、草刈りをしたりするなど保護に努めてきた。

「学校のため、子どもたちのために」という地域の人々の思いが詰まった栗山は、毎年多くの実をつけ、四季折々の佇まいを見せて子どもたちを楽しませてくれている。

古くからの農村地帯であった粒江地区は、11の支部から成り、支部長さんを中心にまとまりのあるコミュニティ活動を行っている。栗山の草刈りでは、地域の人々が、自前の草刈り機を持参して参加し、栗山や学校について語り合うよい機会にもなっている。

また、近くに保育園、幼稚園があり、一緒に栗拾いをしたり栗を届けたりして交流を深め、子どもたちは、栗によって心がつながる喜びを体感している。

本校独自の財産である栗山の歴史を知り、多くの人々の協力によって維持・管理されてきたことに感謝し、粒江小や粒江という地域に誇りと愛着をもつことができるよう学校教育に「栗山活動」を位置付けている。また、自然のめぐみをいただくありがたさを栗山の自然を維持していこうという意識の向上へつなげていきたい。

(2) 年間の活動

①栗山の下草刈り（1回目） 5月30日（土）

地域の方々やPTA、教職員で栗山の下草を刈った。かなりの傾斜の斜面なので、草刈り機を操作するのは力のいる仕事である。竹や雑木を鉋で切り払う人や刈った草を運ぶ人など協力して作業を行った。栗山を維持していくために欠かせない作業である。



②栗山の歴史を聞く 6月

児童朝礼などで、校長から栗山の歴史について話を聞く。栗の花で白く見える栗山を校庭から見上げて、地域の方々など多くの人たちに支えられている栗山であることを知る。

③栗山の下草刈り（2回目） 8月29日（土）

収穫期直前の栗山をきれいに清掃する。下草を刈る班と熊手で雑草をかき集める班に分かれて活動した。子どもたちが安全に栗が拾えるようスズメバチなどの巣がないかも確認した。

清掃後、参加者全員で学校に集合し、気のついたことなど情報交換した。



④栗拾い

9月24日(木)	1年生栗拾い	95名
9月28日(月)	5年生2組と鳥の子保育園の園児と合同栗拾い	50名
9月29日(火)	2年生栗拾い	75名
10月1日(木)	4年生栗拾い	69名
10月6日(火)	5年生1組と粒江幼稚園の園児と合同栗拾い	60名
10月7日(水)	3年生栗拾い	85名
10月9日(金)	6年生栗拾い	76名

保育園児や幼稚園児は、来年度入学して出会う6年生である現5年生と楽しく栗拾いをし、たくさんの栗を持ち帰った。栗のいがが危ないと火箸で取り出してくれたり、転ばないようにしっかりと手をつないでくれたりした5年生にまた会える入学式を楽しみにしている。



⑤栗の苗木を植える

12月3日、5・6年生の運営委員会を中心とした代表児童が栗の苗木を植えた。下級生のためにと10本の苗木を植え、ペットボトルに入れて運んだ水を回しかけた。急な斜面で、児童にとっては大変な作業だったが、栗山の自然を維持していくためにと一生懸命取り組んだ。



(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()